

復元された稲荷曲輪門



稲荷曲輪門(手前)と鍛冶曲輪門(奥)。柱と屋根の違いがよくわかります。

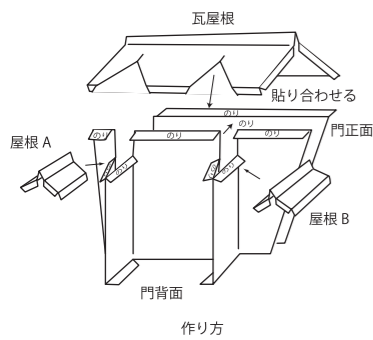
甲府城稲荷曲輪門は、稲荷曲輪南側に位置しています。稲荷曲輪と鍛冶曲輪をつなげる門です。平成11年に復元されました。切妻造で本瓦葺の高麗門です。

高麗門は秀吉の朝鮮出兵以降に造られ始めた門の形式で、鏡柱と控柱の間に小さい屋根を設ける事で屋根の小型化をおこなっています。桁形にした入口の外側に配置されることが多いようです。屋形曲輪にある内松陰門も同じ高麗門です。

高麗門より前の形式に薬医門があります。甲府城では、鍛冶曲輪門がこれに当たります。開けた門扉に雨が掛からないように鏡柱から控柱まで1つの屋根で覆っていたため、屋根は高麗門に比べると大型です。

甲府城跡の復元された門は、すべてペーパークラフトで作る事が可能です。これまでの埋文やまなしの他、ホームページでも順次公開していますので、作り比べてみませんか。

埋蔵文化財センター



編集後記

試験栽培していたヤブツルアズキを収穫しました。収穫時期に天候不順で、なかなかコンスタントに収穫できませんでしたが、広さ2㎡で、20株から約600gの収穫です。残念ながらツルマメは2株からしか収穫できませんでした。来年こそは！(池)

埋文やまなし 第55号  
発行 山梨県埋蔵文化財センター  
〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町 923  
☎055-266-3016  
印刷 株式会社峡南堂印刷所



過去への好奇心は未来への展望  
明日を探るあなたに「埋文やまなし」

あけぼの支援学校への出前支援事業



### What's MAIKATSU? 埋活ってなに？

「埋活」は、昔の人の生活の痕跡である土器や石器、史跡などの埋蔵文化財を活用して、地域のみなさんに山梨県の歴史を体感してもらう活動です。

「埋活」には、遺跡の見学会や山梨の歴史を深く知るためのシンポジウム、史跡などでおこなうイベント、そして学校への出前支援事業などがあります。

### Let's go to SCHOOL 学校へ行こう！

「山梨県の土器は日本一すばらしい！そんな縄文土器を山梨県中の子どもたちにさわってもらいたい！」そんなわたしたちの取り組みの一つに、県内の小中学校、高校、特別支援学校の授業を支援する「出前支援事業」があります。

出前支援事業では、発掘した本物の土器を学校へ持って行き、児童・生徒のみなさんに実際にさわってもらったり、縄文土器づくりや火起こしを体験してもらうことで、歴史に興味を持つきっかけ作りを提供します。



長坂小学校での勾玉づくり



あけぼの支援学校での土鈴づくり

出前支援の体験メニューは同じでも学年や地域で児童・生徒のみなさんの感想や印象はさまざま。そこから埋文センターのわたしたちが新たに知る事もさまざま。ここでは、これまで埋文センターが訪れた出前支援事業のようすをレポートします。

#### 埋活学校編メニュー

- 縄文土器づくり体験
- 勾玉づくり体験
- 土器から拓本をとろう
- 土鈴づくり体験
- 火起こし体験
- ホンモノの土器に触ってみよう

H29に学校で埋活を体感した人数・・・509人 平成29年4月～12月までのべ人数